

やっちゃんえ三小

自走する子供と大人のいる学校づくり

今までの振り返り

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 【子供】 | 【大人】 | 【願い】 |
| ●人懐っこい | ●前向き | ★自ら考え行動 |
| ●素直 | ●仲良し | できる子にな |
| ●明るい | ●個性豊か | ってほしい。 |
| ▲指示待ち | ▲共有不足 | ★学級経営力を |
| ▲根気なし | ▲方向性の違い | 高めたい。 |

1 予防の生活指導

めげせ ありがマン
 ありがとうを仕掛け
 ありがとうに気付き
 ありがとうを伝える

- ✓大人に姿に気付き「ありがとう」を伝えたか？
 ~あなたのおかげで~
 →大人の頑張りや優しさ、少しの変化に気付く。それにリアクションし、価値付け、成長を喜ぶ。
- ✓子供の姿に気付き「ありがとう」を伝えたか？
 ~あなたがいてくれるだけで~
 →子供の頑張りや優しさ、少しの変化に気付く。それにリアクションし、価値付け、成長を喜ぶ。
- ✓大人同士、挨拶をすることができたか？
 ~子供は大人の鏡~
 →「挨拶をしよう」と言う前に、大人同士が挨拶をする姿を見ていく。
 大人自身が磨きをかけ「挨拶がしたい！」って子供が思うような大人をめざす。

2 攻めの特別活動 自ら動く子供の手本は自ら動く大人

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ✓委員会、クラブ、なかよしタイム 事前に大人と打ち合わせをしたか？
 ~準備の準備が大事~
 →子供たちを喜ばせるために準備の準備をして臨む。子供の一步先を見据え、役割分担や計画を立てておく。成功は子供の手柄、失敗は大人の責任。大人も安心して取り組むことで、楽しい時間をつくれる。 | <ul style="list-style-type: none"> ✓委員会、クラブ、なかよしタイム 事前に子供と打ち合わせをしたか？
 ~準備が大事~
 →後輩たちを喜ばせるために準備をして臨ませる。準備をしているからこそ、成功しても失敗しても振り返り、次につなげられる。安心して取り組み、成功体験を積み重ねられるといい。千の準備、一の勝負。 | <ul style="list-style-type: none"> ✓委員会、クラブ、なかよしタイム 子供の活躍を共有したか？
 ~陰口ではなく日向口を~
 →子供の頑張りや優しさに気付き、価値付け、承認する。それを担任や同僚に伝える。伝えられたら子供にもう一度伝える。さらに学級で紹介したり、保護者に伝えたりする。みんなでやると効果倍増。 |
|--|--|--|

承認欲求を満たすための やっちゃんえ！5つのキーワード！！

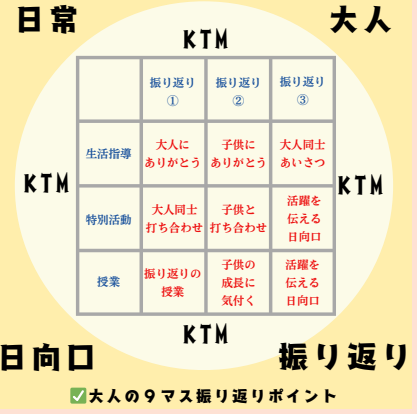
【KTM】 (中でも「気付く」が一番大事。気付けなければ「タイミング」も「メッセージ」もないのだから。)
 K：気付く →子供の活躍や成長、困り感や心や体の変化に気付く。
 →一人一人の存在に感謝し、安心感や勇気を与える。
 T：タイミング →子供の心により届くタイミングで伝える。
 M：メッセージ →子供の心に響く言葉で価値付ける。

【日常】
 小さな積み重ねが大きな変化を生む。
 日常の中にこそ成長はある。日常の中にこそ感謝はある。

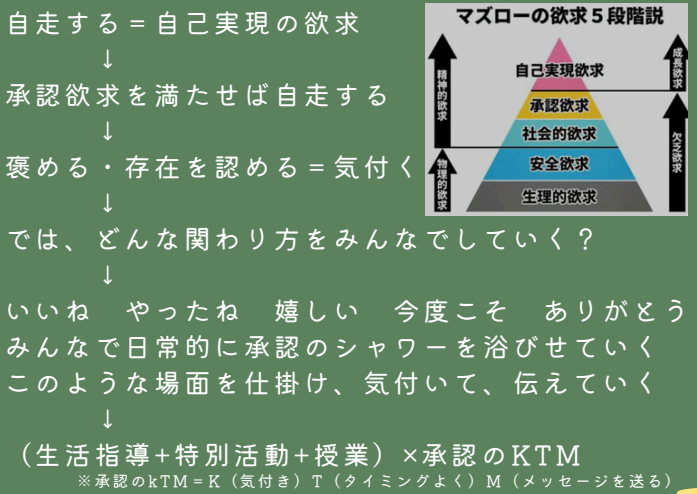
【大人】
 大人が変われば子供が変わる。子供が変わると未来が変わる。
 まずは大人が変わる。大人一人一人の個性を生かし、支え合いながら、同じ目標に向かったとき、大きなパワーを生む。

【日向口】
 子供の活躍や成長をみんなで共有しながら、多人数で褒めまくる。
 担任一人で承認するより、みんなでやる方が効果的。

【振り返り】
 自ら分析し次へと向かう力をつけていく。
 自らを承認し、自己実現へと歩み出せる、そんなスキルを日常的に鍛える。



めあて
 自走する子供にするには
 大人がどのような関わりをすればいいの？



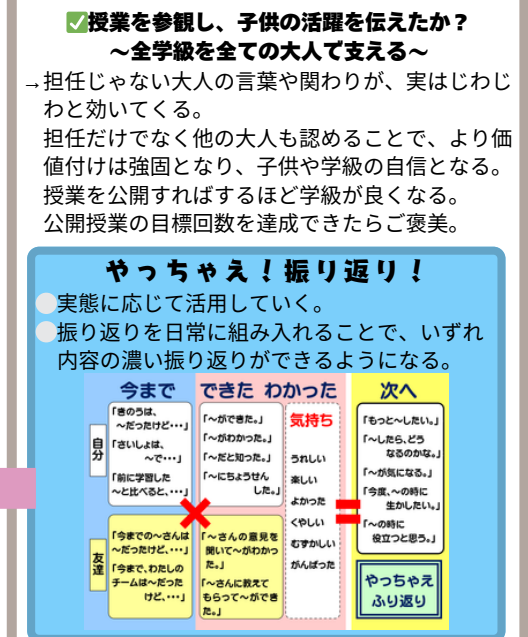
まとめ
 ありがとう 日向口 振り返り
 →大人みんなで日常的にkTM

振り返り
 なんだかんだ言っても
 三小が好きだ！100%
【子供】
 ●ここにいれば安心して成長できる！
 ●この仲間のおかげで成長できた！
 ●さらに成長したい！
【大人】
 ●KTMの力をもっと高めたい！
 ●みんなでやると効果的だ！
 ●さらに自分を磨いていきたい！
【参観者】
 ●これなら私にもできそうだ！
 ●明日、やってみよう！
 ●なんか少し燃えてきた！

3 遊び心で授業

振り返りで始まり 振り返りでつなぐ
 やっちゃんえ公開授業 めげせ200回

- ✓振り返りを軸に展開したか？
 ~楽しい授業は自分でつくる~
 →前回の振り返りから始め、振り返りで終わる。その振り返りは次回の授業に繋ぐ。振り返ることで力の定着はもちろん、授業を自分事として捉えさせることができる。
- ✓子供の变化に気付き関わられたか？
 ~気付くアンテナを磨く~
 →子供の小さな頑張りや工夫、困りごと等に敏感に気付きリアクションをしていく。評価して指導するってこと。全員の具体的成長を言えるようにしたい。
- ✓授業を参観し、子供の活躍を伝えたか？
 ~全学級を全ての大人で支える~
 →担任じゃない大人の言葉や関わりが、実はじわじわと効いてくる。担任だけでなく他の大人も認めることで、より価値付けは強固となり、子供や学級の自信となる。授業を公開すればするほど学級が良くなる。公開授業の目標回数を達成できたらご褒美。



授業のつくり方

- どんな振り返りをさせたいのか
- ①ねらいを確認、子供の言葉で振り返りを考える。
 →ねらいは外さない。これを考えることで、子供の成長に気付くセンサーが発動される。
 - ②振り返りを達成するための発問や活動を考える。
 →全てはねらいの達成と子供の成長のために。効果的なのは何だろうと問う。
 - ③前時の振り返りをもとに導入を考える。
 →自分事として子供が身を乗り出したら勝ち。きっと大きな価値がある。

来年度への導入

- 【生活指導】** 挨拶にこだわって大人全員で指導していく。「ありがとう」を意識的に使っていく。大人同士が感謝に気付く伝える。
- 【特別活動】** 六送会をステキな時間にする。6年生を劣い5年生の姿を褒める。その姿や言葉をもとに新年度をスタートする。
- 【授業】** 日常の授業をほんの少し高めていく。振り返りを軸に授業を展開していく。やっちゃんえ授業の回数をみんなで決める。